

2018年7月21日（土）

女性医師支援センター関東甲信越・東京ブロック会議

神奈川県医師会の 女性医師支援の取り組み

神奈川県医師会 理事 篠原裕希

女性医師支援検討会の設置（H30年4月）

（目的） 今般、「医師の働き方」について、医師会内外において話題となっており、女性医師支援についても大きくクローズアップされている。神奈川県においては全国第2位の914万人の人口を抱える大都市であるにもかかわらず、人口10万人あたりの医師数は200名程度と全国第39位の医師不足の問題も抱えている。

本会では、これらの諸問題の解決に向けて、現在、妊娠中や育産休中の女性医師並びに臨床現場から離れており、ブランクが心配で臨床に復帰する第一歩が踏み出せないでいる女性医師を支援し、もって医師不足の解消及び女性医師が働きやすい環境整備等について、課題解決のための提言を行うために、検討を行う。

（検討会の構成メンバー）

- ・ 医師会関係：18 郡市医師会の中から6 郡市医師会の女性医師会員が参加（横浜市、川崎市・相模医師会連合会より4 郡市医師会から委員を選出）
- ・ 大学関係：横浜市立大学、聖マリアンナ医科大学、東海大学、北里大学において、それぞれ女性医師支援に取り組む実務担当の女性医師
- ・ 県医師会勤務医部会「男女共同参画委員会」委員も参加し合同会議とした。

第1回 女性医師支援検討会(H30.6.21)

第1回検討会は、平成30.6.21(木)に開催し、日本医師会 今村 聡副会長、日医総研 上家 和子主席研究員にご出席を賜り、委員に対して指導・助言と日本医師会女性医師支援センター事業について、改めてご説明をいただいた。

次 第

1 日本医師会女性医師支援センターの取組みについて

- ・医師バンクの求職登録者数については、神奈川県は東京に次いで全国第2位(累計93名、29年度26名、求人登録360名)、求職者の5割は30代。

2 各医師会・各大学における女性医師支援の取組みについて(報告)

(1、2についての総合討論)

3 平成30年度「医学生、研修医等をサポートするための会」の開催

2 各医師会・各大学における女性医師支援の取組みについて(報告)①

県下の郡市医師会では、想像した以上に女性医師の会の設置等に取り組んでいる

○横浜市医師会:ホームページで女性医師の経験談を掲載、平成29年10月27日(金)に第1回横浜市医師会女性医師支援事業連絡協議会を開催した。

○川崎市医師会(川崎市皮膚科医会):神奈川県皮膚科医会では研修会で託児サービスを実施している。(川崎市医師会としての具体的取組みはない)

○厚木医師会:医師会会員251名中31名(12.4%)が女性会員。平成15年度より女性医師部会を設置して、市民向け講演会、総会、懇親会を開催。

○小田原医師会:女性医師部会はないが、医師会の女性医師の参画率は10.5% 37.5%。災害対策委員会委員15名中3名は女性医師で訓練に参加している。

○相模原市医師会:女性医師部会で年2回講演会、市民公開講座を実施しているが、具体的な活動については模索している。

○藤沢市医師会:平成20年5月に女性医師部会を設立し、会員は74名。幹事会、総会、研修会、懇親会を開催している。

今回、検討会に参加していない郡市医師会でも女性医師部会の設置に向けて検討している。(横須賀市医師会など) **3**

各医師会・各大学における女性医師支援の取組みについて(報告)②

・横浜市立大学: 病院長が女性、主任教授3名が女性。大学の授業に男女共同参画を1コマ講義。学生のメーリングリストを活用して医師会活動を周知。横浜市立大学は市立女子医大と言われるほど、もともと女子医学生が多い。

・聖マリアンナ医科大学: 平成27年4月に学長をトップとする「男女共同参画キャリア支援センター」を設置した。また研究者支援部会を設置。大学として2016年5月にくるみんマークを取得。

・東海大学: 10年前から院内保育所を設置、幼稚園も設置しているので、幼保一体のように22時まで保育園での預かり保育を実施。課題は24時間保育と病児・病後児保育。

・北里大学: 学生の半数弱が女性。北里大学保育園では、24時間保育を実施している。病児・病後児保育室も設置。男女を問わず働き方改革に取り組む。

3 医学生、研修医等をサポートするための会

- 本会では、平成21年度より標記のサポートするための会を開催し、本年度で10回目を迎える。
 - 課題として参加者が40名前後と伸び悩んでいるが、内容について一定の評価があり、平成30年度は周知方法の見直し再度検討する。
 - 平成29年度は「総合診療専門医」をテーマに基調講演を行った。
 - 平成30年度も「専門医制度」をテーマにするよう要望があったので、専門医制度全般の講演を行うとともに、一部では専門医を取得しなければいけないという認識があるため、改めて専門医取得の意義を理解していただく必要がある。

第1回女性医師支援検討会の振り返り

- 今回、初めて検討会を行って感じたことは・・・
 - ・結婚、妊娠・出産・育児などを経験した女性医師はパワーがある。
 - ・東京女子医大を卒業した医師からは、もともと男性がいないので、男性には頼らない風潮があると言われた。
 - ・話がつきない、とまらない。
 - ・お酒が強い。（気も強い）

- 医師会として、まずは「女性医師部会」を設置して動き出すことも1つの方策であると感じた。・・・動きながら一緒に考えていく。・・・何とかなる。できることから始めて、積み上げていく。・・・（女性医師にリードしてもらおう）

日医女性医師支援センターHPリニューアルに合わせて 本会のHPに女性医師支援のページを充実①

- 神奈川県（医師会）における女性医師支援情報の提供について
- 神奈川県医師会女性医師支援相談窓口
- 保険医療学術課（小沢）にお問い合わせください
- K-ozawa2@kanagawa.med.or.jp
- 神奈川県内「保育施設等一覧表」
- 神奈川県オープンデータサイト
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/b8k/cnt/f534212/>
- 子育て支援情報サービスかながわ
<http://c.rakuraku.or.jp>
- 病児・病後児保育情報
- 横浜市の病後児保育施設情報（横浜市こども青少年局保育運営課）
- <http://www.city.yokohama.lg.jp/kodomo/unei/hoikuseido/byouji-hoiku.html>

日医女性医師支援センターHPリニューアルに合わせて 本会のHPに女性医師支援のページを充実②

神奈川県（医師会）における女性医師支援情報の提供について

○一般社団法人 全国病児保育協議会（協議会加盟施設一覧）＜全国版＞

<http://www.byoujihoiku.net/list/>

○神奈川の病児保育可能なベビーシッター（キッズライン）

https://kidsline.me/sitter/kanagawa/p_3

4 神奈川県地域医療支援センター「かながわドクターバンク」

（事務局：神奈川県健康医療局医療課 地域医療・医師確保対策グループ）

医師の求人情報の掲出（ただし、就業の斡旋は行っていません）

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/t3u/ishiboshu.html#>

※求職者は自分で求人病院に問い合わせを行います。

○日医女性医師バンク（会員・非会員を問わず対応します）

<https://www.jmawdbk.med.or.jp/> TEL 03-3942-6512（平日10時～17時） 女性医師
に対して就業希望条件にあった医療機関の紹介を行っています。

